

下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価分析シート

平成28年度

【評価分析シート(例)】

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
1	〇〇〇〇活用件数	年度目標値	4件(延4件)	4件(延8件)	4件(延12件)	4件(延16件)	延20件
	(項目の説明)	実績値	6件				
		達成度	A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度は、広報誌への掲載、ホームページの情報更新、PRチラシの配布など周知活動に力を入れた結果、年度目標の4件を上回る6件の活用があった。今後は、市内での活用事例の紹介なども行うなど、周知活動に継続的に取り組むとともに、制度の見直しなどを図りより利用しやすい制度にしていき、目標値達成に努める。					
担当課	〇〇課						

【年度目標値】

目標値(平成31年度)達成に向けた各年度の目標値

【実績値】

各年度末での実績値(本年は平成27年度について記入)

【達成度】

年度目標値と実績値をもとにした各年度の達成度

【平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組】

平成27年度の取組とそれに伴う実績値の分析、それらを踏まえて今後どのような取組を行うのかについて

達成度

評価基準

達成度	評価基準
A	年度目標に対する進捗状況が 100%以上
B	年度目標に対する進捗状況が 80%以上、100%未満
C	年度目標に対する進捗状況が 50%以上、80%未満
D	年度目標に対する進捗状況が 50%未満
—	数値化できないもの

進捗状況 = 実績値 ÷ 年度目標値 の数値(%)

※ただし、KPIの目標値が基準値より数値を下げる項目においては、
年度目標値 ÷ 実績値 の数値(%)

下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価分析シート

基本目標①「魅力的で安定した雇用を創出する」

数値目標	基準値	実績値				目標値 平成31年
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
生産年齢人口の割合	63.9% (H27年における推計)	63.7%				61.8%
【数値目標の説明】 少子高齢化が進行し、また市の人口が減少すると予測される中において、人口ビジョンの将来展望が示す生産年齢人口割合の維持を図る。	【平成28年3月末時点】 (15歳以上65歳未満人口 38,141人) ÷ (下野市総人口 59,870人) = 63.7% 栃木県: 61.9全国8位 下野市: 県内3位 減少はしているが全国的には高い水準を維持している。					

(ア)商工業に躍進するまちづくり	商工業の活性化による魅力ある地域づくりを推進します。
------------------	----------------------------

①商工業による躍進するまちづくり

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
1	制度融資新規活用件数	年度目標値	177件	200件	200件	200件	200件	
		実績値		130件				
		達成度		C				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		中小企業者の資金調達を容易にし、中小企業の振興に寄与するため制度融資の周知及び利用促進を図ったが、東日本大震災以降年々減少している県内の新規活用件数と同様に本市における平成27年度の新規活用件数も減少した。資金別内訳は、設備資金15件、創業資金1件、運転資金105件、円滑化資金9件であった。 平成28年度より利率の一部変更、設備資金の融資枠拡大、円滑化資金の利用条件緩和を実施するとともに、制度の周知を図るため、商工会総会等においてPRを行う。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
2	空き店舗奨励金等活用件数 (空き店舗奨励金の活用件数)	年度目標値	2件	3件 (延3件)	3件 (延6件)	3件 (延9件)	3件 (延12件)	延15件
		実績値		2件 (延2件)				
		達成度		C				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		新規開業者の支援、空き店舗の解消、商業の活性化及び地域の活性化を図るため空き店舗奨励金の周知を図ったが、平成27年度の実績は、中古バス販売・買取業、介護福祉業各1件の認定であった。 空き店舗の活用促進のためには新規開業事業者の育成が必要であることから、産業振興センターが開催する創業塾のPRや商工会と協力し市内での創業塾の開催を図るとともに、広報やホームページを活用しPR活動を行い奨励金の活用促進を図る。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
3	駅前広場事業実施箇所数 (JR3駅での花いっぱい事業の実施箇所数)	年度目標値	2か所	3か所	3か所	4か所	4か所	5か所
		実績値		3か所				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		駅の利用者等に花によるお出迎えを行い、癒しを与えるとともに本市の魅力向上のため、JR小金井駅西口、自治医大駅西口、石橋駅西口で実施した。 今後、東口での実施に向け、委託先の検討を行う。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
4	企業交流会・講習会の開催回数 (工業団地内立地企業相互や市内産業連携につながる交流会の開催)	年度目標値	年1回	1回	1回	1回	1回	毎年開催
		実績値		1回				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		市内立地企業や商工業者等の相互交流の機会をつくり、企業間及び企業と事業者等との連携を強化することにより、本市の工業振興と企業立地促進を図ることを目的に開催した。 7月17日 道の駅しもつけ 講演会113名 交流会71名(市内立地企業、商工業者、金融機関等) 講師:宮川 俊二「"世の中"を読み取る力」 今後も継続開催する。(H28.7.12開催)						
担当課	商工観光課							

②新たな産業の誘致・育成

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
5	雇用奨励金活用件数 (市民居住労働者の雇用促進のための奨励金の活用件数)	年度目標値	1件	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	延20件
		実績値		8件 (延8件)				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		雇用機会の増大と雇用の安定を図るため雇用奨励金の周知を図り、正規社員を募集していた2社(洋服の企画製造販売業、介護サービス業)での活用となった。今後も、広報、ホームページ、商工会総会等の機会を活用しPRを行い制度の有効活用を図る。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
6	創業資金利用件数 (創業・女性企業家資金の活用件数)	年度目標値	7件	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	延20件
		実績値		1件 (延1件)				
		達成度		D				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		創業時の健全な事業経営を支援するため創業資金制度の周知を行い利用促進を図ったが、1件(自動車整備業)の利用にとどまった。創業資金活用件数を増やすためには新規開業事業者の育成が必要であることから、産業振興センターが開催する創業塾のPRや商工会と協力し市内での創業塾の開催を図るとともに、広報、ホームページを活用し制度のPRや融資の相談窓口となる金融機関と連携し活用促進を図る。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
7	事業所数 (工業統計事業所数)	年度目標値	113事業所	114事業所	115事業所	116事業所	117事業所	120事業所
		実績値		107事業所				
		達成度		B				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度実績値は、平成26年度工業統計の数値 新規事業所の立地できる土地がほとんどない状況で廃業などによる事業所の減少があった。 新規事業所の立地のためにも、受け皿となる産業団地造成に係る業務の推進を図る。						
担当課	商工観光課							

③雇用・就業機会の拡充

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
8	ICT講座参加者数 (市独自のICT(情報通信技術)講座参加者数)	年度目標値	17人	20人 (延20人)	20人 (延40人)	20人 (延60人)	20人 (延80人)	延100人
		実績値		33人 (延33人)				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		ホームページやSNS等を活用した事業者のPR力向上やパソコンを活用した帳簿等作成による事務効率化を図るためのICT講習を開催した。平成27年度より、指定日程に実施する授業形式から、商工会に委託し、市内のパソコン教室を活用し参加日や時間を自由に設定できるよう変更したことにより、想定以上の参加が得られた。 今後も、商工会に委託し実施する。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
9	技能検定合格者表彰者数 (技能検定特級、一級及び単一級の表彰人数)	年度目標値	17人	25人 (延25人)	25人 (延50人)	25人 (延75人)	25人 (延100人)	延125人
		実績値		30人 (延30人)				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度表彰者は、平成26年度後期及び平成27年度前期の技能検定合格者 技能労働者の卓越した技能をたえその社会的地位の向上を図るため、技能検定合格者表彰を実施した。平成27年度は、想定以上に技能検定の合格者が多かった。 平成28年度は技術者のPRを兼ね産業祭会場で表彰を行う。						
担当課	商工観光課							

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
10	近隣市町等との共催による合同説明会の開催	年度目標値	年1回	1回	1回	1回	1回	毎年開催
		実績値		2回				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		大学生の就職支援の一環として合同説明会を開催した。 8月20日に小山グランドホテルでおやま地区大卒等就職面接会を開催した。 (参加企業:57社 参加学生:84名) 3月17日に小山グランドホテルで大卒等合同企業説明会を開催した。 (参加企業:39社 参加学生:192名) 平成28年度も小山地区雇用協会の一員として説明会を開催する。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
11	本場結城紬展示会開催回数	年度目標値	年1回	1回	1回	1回	1回	毎年開催
		実績値		1回				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		本場結城紬のPRの一環として、2月13・14日に南河内公民館まつりで展示・実演・体験を行った。 平成28年度も南河内公民館まつりにおいて展示・実演・体験を行う。						
担当課	商工観光課							

(イ)地域の特性を活かした農業・農村づくり
魅力ある農畜産物の生産と効率的な経営による継続的な農業環境づくりを推進します。

①都市近郊型農業の推進

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
12	新メニューの提供数 (市内農畜産物を利用した新メニューの 延べ開発数)	年度目標値	—	2件 (延2件)	2件 (延4件)	2件 (延6件)	2件 (延8件)	2件 (延10件)
		実績値		2件 (延2件)				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度は、野菜料理研究家、ラーメン料理人による地元農産物を使ったベジ・トレンドセミナーを開催し、新メニューとして「野菜寿司」・「ベジラーメン」の2種類の提供及び試食会を行った。 今後は、市のブランド(特産品)である「かんぴょう」を使った新メニューの開発、及び昨年から作付を行っている新品種のポテトの新メニューの開発を行っていく。						
担当課	農政課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
13	生産技術向上等講習会の開催 (市内農畜産物の生産技術向上と若手 農業者育成のための講習会)	年度目標値	—	2回	2回	2回	2回	年間2回
		実績値		2回				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度は若手農業者を対象に、「米作りから見る気象」をテーマに講習会1回、全農農・技術センター(平塚市)施設視察を1回、計2回の講習会等開催した。 今後は、農業者の要望に則した内容の講習会を経営部門に偏りがないよう工夫しながら開催していく。						
担当課	農政課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
14	下野市地産地消応援団認定数 (下野市産農畜産物の利用促進に取り 組む市内・市外の延べ事業所数)	年度目標値	47事業所	50事業所	53事業所	56事業所	58事業所	60事業所
		実績値		47事業所				
		達成度		B				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		認定数は47事業所であり増減はなかった。 今後は、新たに設置される直売所や未認定の飲食店等に事業の趣旨を説明し、理解を得いただき認定数を増やしていく。						
担当課	農政課							

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
15	市内農産物直売所の販売額	年度目標値	8億円	8億4000万円	8億8000万円	9億2000万円	9億6000万円	10億円
		実績値		8億9500万円				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		市内直売所の総販売額の実績は、前年度比約9500万円の増となった。しかしながらその約50%が道の駅しもつけの販売額であることから、今後は中小企業診断士の指導を受け、それぞれの直売所が特色を活かした販売を行うことにより売上げアップを実現していく。						
担当課		農政課						

②農業経営の改善

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
16	地域の担い手となる認定農業者数 (農業経営の目標に向け、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画が認定された農業者数)	年度目標値	280人	286人	292人	298人	304人	310人
		実績値		287人				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度の実績は前年比7人増の287人となった。今後は認定農業者のメリット等の説明を十分に行い、新規認定を含め後継者との共同認定による人数増を行っていく。						
担当課		農政課						

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
17	新規就農者数(年間) (独立自営で新たに農業を開始した年間農業者数)	年度目標値	8人	8人	8人	9人	9人	10人
		実績値		4人				
		達成度		C				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度の実績は4人であり前年度を下回る結果となったが、今後も新規就農希望者(特に若手)の掘り起しを、県農業振興事務所と情報を共有し行っていく。						
担当課		農政課						

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
18	担い手の農地集積率 (市内耕地面積に対する認定農業者等の農地利用集積面積の割合)	年度目標値	40%	42%	44%	46%	48%	50%
		実績値		42%				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度の担い手の農地集積率は2%増の42%となったが、目標値50%を達成するには更なる集積が必要になることから、今後は市農業公社と連携を図り、農地中間管理機構を活用した集積を積極的に進めていく。						
担当課		農政課						

③農業生産基盤の整備

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
19	ほ場整備新規採択地区数 (県営ほ場整備(区画整理・水路・農道等の一体的な整備)事業の新規採択地区数)	年度目標値	—	—	—	新規1地区	—	新規1地区
		実績値		—				
		達成度		—				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度においては県営ほ場整備の新規取り組み地区として薬師寺・柴地区の農地等状況調査、アンケート調査など換地等調整事業を行った。平成28年度は換地等調整事業の残事業となる合意形成、地域営農構想作成、経営体育成方針作成を行う。平成29年度には計画樹立に合わせ事業採択を目指す。						
担当課		農政課						

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
20	農業水利施設の機能診断 ・保全計画策定数	年度目標値	7か所	9か所	12か所	12か所	12か所	
	(市内水利施設に係る長寿命化のための 診断・保全計画の延べ策定数)	実績値	7か所	9か所				
		達成度		A				
	平成27年度の実績と実績値の分析 及び今後の取組	平成26年度までに7つの堰の保全計画を策定し、うち北河原堰は平成24年度に改修完了、平成29年度から宮前堰改修の予定となっている。平成27年度には2つの堰(上台用水堰、細谷堰)が保全計画策定済みとなった。平成28年度には残る3つの堰(鯉沼堰、上吉田堰、関堀堰)の保全計画を策定し完了する。						
	担当課	農政課						

基本目標②「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 平成31年
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
転入者数	2,319人	2,309人				2,550人
【数値目標の説明】 合併以来9年間の転入者の平均が2,470人であるのに対し、直近の2年間は2,300人台で推移しているため、毎年度2%の転入者増を目標に、5年後、10%の転入者増を目指す。	平成27年(1月～12月)の転入者(日本人)は2,309人であり、10名減となった。					
観光入込客数	252万人	256万人				277万人
【数値目標の説明】 市内観光施設・イベントへの来訪者数(観光庁の観光入込客数)。	平成27年(1月～12月)の観光客入込数は256万人で前年比101.3%であった。道の駅しもつけの入込数が堅調に推移していることに加え、天平の花祭りでは好天に恵まれ開花状況が良く入込客が伸びた。また、グリムの森イルミネーションが定着し冬季の入込客数を後押しした。【平成27年栃木県観光客入込数推定調査結果】 今後も道の駅との有機的な連携を検討しながら観光入込客数を伸ばしていきたい。					

(ア)快適に住み続けられる住環境・緑環境・交通環境・水環境づくり	JR3駅を中心としたコンパクトなまちづくりによる住みやすい環境づくりを推進するとともに、うるおいのある緑・水辺の環境づくり、人に優しい交通環境づくり、安全で快適な水環境づくりを推進します。
----------------------------------	--

①土地利用の推進

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
21	立地適正化計画策定 (都市再生特別措置法の改正に伴い策定する「コンパクトなまちづくりを進めるための計画」)	—	—	策定	—	策定	策定
	年度目標値	—	—	策定	—	策定	策定
	実績値	—	—	—	—	—	—
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		立地適正化計画を策定するため、庁内検討組織の下野市立地適正化計画庁内策定委員会を設置して、会議を2回開催し、都市機能誘導区域設定及び都市機能増進施設設定の素案を作成した。平成28年度については、住民説明会、パブリックコメントを実施し、都市機能誘導区域を設定を行う。					
担当課	都市計画課						
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
22	土地区画整理事業整備面積 (事業費ベース進捗率による整備面積)	467ha	471.7ha	473.7ha	478.6ha	482.9ha	493ha
	年度目標値	467ha	471.7ha	473.7ha	478.6ha	482.9ha	493ha
	実績値	467ha	469.3ha	—	—	—	—
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度は道路築造・擁壁工事、宅地造成工事、物件移転補償などを実施した結果、前年度比2.3ha増の469.3haとなった。今後も目標値である493ha達成のため、引き続き居住環境の向上と良好な宅地の供給を図り、目標達成に向けて事業推進を図っていく。					
担当課	区画整理課						
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
23	地籍調査完了面積 (完了面積)	1.72km ²	2.19km ²	2.65km ²	4.98km ²	7.15km ²	8.01km ²
	年度目標値	1.72km ²	2.19km ²	2.65km ²	4.98km ²	7.15km ²	8.01km ²
	実績値	1.72km ²	2.19km ²	—	—	—	—
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		石橋南部地区(0.47km ²)の登記が平成28年3月末に完了した。今後も地籍調査と並行して、過年度に調査を実施した箇所の認証、登記を行う。					
担当課	建設課						

②住環境の整備

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
24	新規住宅取得者家庭菜園整備件数 (対象要件を満たす家庭菜園整備の件数)	—	0件	10件 (延べ10件)	20件 (延べ30件)	20件 (延べ50年)	延70件
	年度目標値	—	0件	10件 (延べ10件)	20件 (延べ30件)	20件 (延べ50年)	延70件
	実績値	—	—	—	—	—	—
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		キャラバン隊と連携して、とちまるショップ等でのPR活動やパンフレット・ポスター、ホームページ等でのPR活動を実施したが、家庭菜園整備までにはいたらなかった。今後も、PR活動の充実を図り、事業を推進する。					
担当課	都市計画課						

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
25	生垣奨励金補助件数 (対象要件を満たす生垣設置に対する年間補助件数)	年度目標値	2件	5件	5件	5件	5件	5件
		実績値		3件				
		達成度		C				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成27年度実績 3件 今後も生垣奨励補助を実施することで、緑豊かな住環境の実現を図る。						
担当課	都市計画課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
26	木造住宅耐震診断・改修補助件数 (木造住宅耐震診断事業・改修事業、耐震アドバイザー派遣事業の年間活用件数)	年度目標値	3件	4件	4件	4件	4件	4件
		実績値		1件				
		達成度		D				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成27年度実績 木造住宅耐震改修 1件 産業祭や消費者まつりのイベントにおいて、木造住宅耐震化事業のPR活動を実施した。今後もイベント等に参加するなど、木造住宅耐震化事業の推進を図る。						
担当課	都市計画課							

③公園・緑地・交通環境の整備、上下水道事業の推進

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
27	住民1人当たり都市公園面積 (市内の都市公園合計面積を市内人口で除した面積)	年度目標値	13.54㎡	13.54㎡	13.54㎡	13.54㎡	13.54㎡	16.53㎡
		実績値		13.54㎡				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成27年度に天平の丘公園(272,975㎡)が都市公園となっている。今後は、(仮称)三王山公園、大松山運動公園の供用開始に向けて整備を推進する。						
担当課	都市計画課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
28	新規公園整備・供用開始	年度目標値	—	—	新規1か所	—	—	新規1か所
		実績値		—				
		達成度		—				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	(仮称)三王山公園の整備コスト縮減のため、実施設計の見直しを行い、工事を実施した。平成28年7月にオートキャンプ場・ドッグラン施設の一部供用開始を行った。						
担当課	都市計画課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
29	公園施設長寿命化計画策定 (施設の健全度を把握する点検調査、点検結果に基づく長寿命化対策の計画書)	年度目標値	—	—	—	策定	—	策定
		実績値		—				
		達成度		—				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	公園施設長寿命化計画を策定するため、資料の準備を行い、平成28年度において、都市公園施設の健全度点検調査、長寿命化対策の検討を行う。						
担当課	都市計画課							

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
30	道路改良率 (実道路延長に対する規格改良済道路延長の割合)	年度目標値	64.0%	64.2%	64.4%	64.6%	64.8%	65.0%
		実績値		64.5%				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	道路改良・区画整理・農道整備等により供用開始となった部分を計上したため、実績値が上昇している。今後は、維持管理にシフトせざるを得ない状況が予想されるため、数値の上昇は緩やかなものとなる。						
担当課	建設課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
31	道路舗装率 (実市道延長に対する市道舗装済延長の割合)	年度目標値	86.3%	86.5%	86.7%	86.8%	86.9%	87.0%
		実績値		86.7%				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	道路改良・区画整理・農道整備等により供用開始となった部分を計上したため、実績値が上昇している。今後は、維持管理にシフトせざるを得ない状況が予想されるため、数値の上昇は緩やかなものとなる。						
担当課	建設課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
32	上水道普及率 (行政区域内人口に対する給水人口の割合)	年度目標値	97%	97.12%	97.14%	97.16%	97.18%	97.10% 97.20%
		実績値		97.12%				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	目標値を上回っているが、今後とも加入促進を図り、普及率の向上を目指す。						
担当課	水道課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
33	下水道普及率 (全体人口に対する下水道を利用できる人口割合)	年度目標値	75.4%	76.1%	76.8%	77.5%	78.2%	79.1%
		実績値		75.8%				
		達成度		B				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成27年度中に汚水管渠を4,265.1m整備した。これにより供用開始区域内人口は45,360人となり全体人口59,870人に占める割合(普及率)は75.8%になった。引き続き、公共下水道事業計画に基づき整備を進めていく。						
担当課	下水道課							

(イ) 魅力あふれる『観光まちづくり』

「四季の自然と豊かな歴史・文化が薫る下野市」の環境をさらに磨いて、人が輝き、地域が輝くまちを創り、訪れた人がもう一度来たくなるまちを目指します。観光まちづくりを推進するため、観光プロモーションの推進、道の駅しもつけを核とした観光の創出、観光協会の充実・強化、観光施設の環境整備・充実に取り組むとともに、農商工連携等による下野ブランドの展開、新たな観光資源の開拓、広域観光の連携・推進に取り組めます。

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
34	下野市観光協会HPアクセス数 (観光協会ホームページの年間アクセス数)	年度目標値	13万2千件	13万5千件	14万1千件	14万6千件	15万件	15万5千件
		実績値		17万3千件				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	花まつり等の恒例イベントのほか、花畑景観事業、市外イベント等での出店PRを行った。また、観光キャラバン隊活動やモニターツアーの実施等によるシティセールスで下野市に関心を持つ人が増えた。更に観光協会のホームページをリニューアルし見やすくした。今後は、ホームページの記事更新を適時行い、アクセス数の増進を図る。						
担当課	商工観光課							

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
35	道の駅しもつけ利用者数 (買い物等の市内外の年間利用者数)	年度目標値	260万人	264万人	268万人	272万人	276万人	280万人
		実績値		253万人				
		達成度		B				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	利用者が屋外でも飲食・休憩ができるように、イベントスペースのビッグテント追加、冬季寒さ対策カバー設置、ガスヒーター(冬季)やミストシャワー(夏季)の設置、サマーフェスティバル・大鍋まつり・収穫祭・かんぴょうまつり・全国物産展等の実施による集客を図った。 今後も利用者のニーズを考慮し、イベント等の実施により集客を図る。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
36	地産地消イベント開催回数 (道の駅しもつけでの地産地消イベントの年間回数)	年度目標値	4回	4回	5回	5回	6回	6回
		実績値		5回				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	道の駅しもつけで7月と1月にかんぴょうまつり、10月に大鍋まつり、11月に収穫祭を開催し、天平の丘公園で11月に天平の芋煮会を開催した。 今後も事業の継続・新規開拓を図る。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
37	観光自転車利用者数 (市内5か所に設置したレンタサイクルステーションでの観光自転車年間利用者数)	年度目標値	632人	646人	659人	673人	684人	700人
		実績値		905人				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	オアシスポップ館、自治医大駅・石橋駅、道の駅しもつけ、夜明け前において観光自転車貸出しを行った。観光以外の目的(仕事、病院、墓参り、趣味のクラブ活動など)で利用する人も増えた。また、広域観光推進協議会と連携し、二次交通のPRを図った。 引き続き観光自転車の利用促進を図るため、パンフレットの配布等、PRを実施する。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
38	オアシスポップ館利用者数 (「オアシスポップ館」の年間利用者数)	年度目標値	8,396人	8,577人	8,758人	8,938人	9,119人	9,300人
		実績値		9,619人				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	インフォメーションセンターとして市内外に情報を発信し、多目的ホールの貸出しを行った。また、観光協会が12月から館内に移転したことで協会との打合せや会合による来客が増加したほか、春の駅からハイキングの実施等により利用者が増加した。 今後は、観光協会の移転をきっかけに観光インフォメーションを中心に情報発信力を高めていく。						
担当課	商工観光課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
39	下野ブランド認定件数	年度目標値	24件	27件	30件	34件	37件	40件
		実績値		28件				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野ブランドの募集を行い、新規ブランド4件を認定した。 今後は、下野ブランド力強化事業費補助金制度(下野ブランド認定品における研究開発、販路開拓、特許等取得にかかる経費を、補助率2分の1、30万円を上限に補助する制度)の活用を促進し、ブランドのブラッシュアップを図る。						
担当課	商工観光課							

(ウ) 交流の促進とシティプロモーションの推進	都市部住民と農村部住民の交流を促進し地域活性化を図るとともに、本市の強みである充実した自然環境・交通環境・居住環境・医療環境などの住みよさ及び魅力を市内外に発信することにより本市への新たな人の流れをつくるために、新たな交流拠点の整備及び更なる交流促進のための事業展開を図るとともに、パーソナルロボットを導入・活用しシティプロモーション事業等をより積極的に展開します。
-------------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
40	パーソナルロボットイベント参加回数 (東京圏を中心に行うイベントへの参加回数)	年度目標値	—	5回 (延5回)	10回 (延15回)	12回 (延27回)	12回 (延39回)	延50回以上
		実績値	—	4回 (延4回)				
	達成度	—	B					
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成27年度はキャラバン隊に同行し、スカイツリーソラマチのとちまるショップ、横浜のモザイクモールにおいてシティプロモーション活動を行った。また、東京圏での活動のほかに、市内でのイベントへの参加や市内16小中学校を訪問し、24回のシティプロモーション活動を行った。さらに、とちぎテレビ、ケーブルテレビ、CRTラジオなどのメディア出演、SNS(ツイッター)を活用した情報発信にも努めた。 今後も積極的にイベント等に参加し、下野市のPRを行うとともに、より効率的・効果的なPepperの利活用について検討していく。						
担当課	総合政策課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
41	都市農村交流施設整備数 (石橋地区に開設予定の施設整備数)	年度目標値	—	—	新規1か所	—	—	新規1か所
		実績値	—	—				
	達成度	—	—					
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成27年度については運営形態や施設建設に関する地元協議を行い、建築工事の実施設計が完了した。平成28年度には建築工事を行い平成29年度の開業に向け準備をすすめる。						
担当課	農政課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
42	体験農園の設置数	年度目標値	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所
		実績値	1か所	1か所				
	達成度	—	A					
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	体験農園としては、下野市民農園の1か所であり増減はなかった。今後は、石橋地区都市農村交流施設の近隣において新たな体験型農園の創設の取り組みを進めていく。						
担当課	農政課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
43	農産物加工体験施設の設置数 (農産物加工センター等の設置数)	年度目標値	3か所	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所
		実績値	3か所	3か所				
	達成度	—	A					
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	農産物加工センターとしては、国分寺農産物加工センター、南河内農産物加工センター、下野市農村環境改善センターの3か所がある。平成28年度に整備予定の石橋地区都市農村交流施設においても加工施設を設置することから、施設完成後には4か所となる。						
担当課	農政課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
44	体験農園のイベント開催回数	年度目標値	1回	2回	3回	3回	3回	3回
		実績値	1回	3回				
	達成度	—	A					
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成27年度は、市民農園等でさつまいもの収穫、田植え、稲刈り体験のイベントを行った。今後は、石橋地区都市農村交流施設を利用したイベントに取り組んでいく。新たな施設では季節ごとのイベントなど年4回程度を予定しており、田植えや稲刈りなどの体験農園のイベントも見込んでいる。						
担当課	農政課							

基本目標③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 平成31年
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	95.4%	95.5%				96.0%
【数値目標の説明】 乳幼児健康診査のアンケート調査において実施。	平成27年度は、基準値より0.1%増の95.5%となった。 ※乳幼児健康診査のアンケート調査における「この地域で、今後も子育てをしていきたいですか」という問いに対して「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。					
合計特殊出生率	1.41	—				1.60
【数値目標の説明】 人口ビジョンの将来展望の短期的目標で示した合計特殊出生率の向上を目指す。	2016年全国速報値1.46 栃木県1.48(全国30位)					

(ア)子どもを健やかに産み育てる環境整備	子どもが健やかに成長し、生涯を通じて健康に過ごすためには、出産前からの支援と出産後の早期からの相談や健診の充実など、妊娠婦や子育て中の保護者を地域で見守り、支える環境整備を推進します。
----------------------	--

①妊娠・出産への支援

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
45	両親学級参加数 両親学級参加率 (妊娠・出産・育児等に関する学級の妊婦と家族の参加者数)	年度目標値	-259組-	47.0%	50.0%	55.0%	58.0%	280組-
		実績値	45.0%	45.70%				
		達成度		B				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		H27年度実績は初産妊婦の45.7%であった。また、両親学級は医療機関でも実施しており、今後は地域の医療機関における両親学級との連携強化に努め、医療機関の教室参加者も含めた実態把握を行っていく。					
担当課		健康増進課						
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
46	不妊治療助成件数 (保険対象外となる不妊治療及び不育症治療を受けた方への治療費の一部助成の年間件数)	年度目標値	100件	102件	104件	106件	108件	110件
		実績値		125件				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		助成件数は目標値を超えているが、H28年度より男性不妊治療の上乗せ助成も実施しており、今後も制度の周知徹底を図り申請漏れの防止に努める。					
担当課		健康増進課						

②子どもや母親の健康の確保

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
47	乳幼児健康診査対象児の状況把握の割合 (乳幼児健康診査対象児の受診促進及び未受診者の状況把握)	年度目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値		100%				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		乳幼児健康診査受診率はいずれも98%を超えている。医療機関で経過観察等の未受診者に対しては、家庭訪問等で児の状況を把握している。					
担当課		健康増進課						
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
48	任意予防接種助成制度新規事業数 (任意予防接種における市独自助成制度事業数)	年度目標値	—	2	1	0	1	新規2事業
		実績値		2事業開始				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年4月からロタ及びおたふくかぜの任意予防接種助成を開始した。					
担当課		健康増進課						

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
49	保育園・幼稚園等での食育教室実施回数 (下野市食育推進計画に基づく実施箇所数)	年度目標値	8か所	9か所	9か所	10か所	10か所	10か所
		実績値		16か所				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市内保育園、児童館、子育て支援センター等の幼児、小学校の児童、保護者を対象に食育教室を実施し、小児期からの生活習慣病予防に努めた。(保育園等から依頼があった場合に実施)						
担当課	健康増進課							

③育児不安の軽減と虐待防止への支援

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
50	こんにちは赤ちゃん 全戸訪問事業・把握率 (生後4か月までの子どもを持つ家庭への助産師・保健師の訪問及び状況把握)	年度目標値	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値		100%				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成27年度訪問対象者数(出生数)463人に対する把握率で、訪問拒否や入院中で訪問できないケースもありますが、養育状況は確認できているため全ケース把握しています。ハイリスクケースについては、早期介入できており適切な支援につなげられています。						
担当課	こども福祉課 健康増進課							

(イ)心身ともに健やかな子どもの育ちを支える取組の推進

市民一人ひとりが自分を大切に思い、人を大切に思う心を育み、また、自分がかげがえのない存在であることを実感するなど、次代の親としての成長を支援する取組を推進します。

①思春期の心身の健康づくり

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
51	思春期講座開催小中学校数 (関係機関が連携した小中学校での思春期講座の開催)	年度目標値	—	15小中学校	15小中学校	15小中学校	15小中学校	16小中学校
		実績値		15小中学校				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	2校は、小規模校のため、隔年実施しているため、全校実施の場合は、15校である。						
担当課	健康増進課							

②豊かな子どもをはぐむ地域力の向上

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
52	児童館利用者数 (児童館の年間利用者数)	年度目標値	30,061人	30,500人	30,750人	31,000人	31,500人	31,500人
		実績値		25,632人				
		達成度		B				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成27年度は、「地域とともに歩む児童館」として5児童館合同で実施した「こどもまつり」をはじめ三代交流や地域内の交流を推進する事業に取り組んできたが、利用者数は目標値を下回った。その主な原因として、少子化や放課後に学童保育室を利用する小学生の増加、また子育て支援センターを利用する未就学児を持つ親の増加が考えられる。今後は、より地域と密着した児童館の定着に努め、身近な子育て支援施設として推進を図る。						
担当課	こども福祉課							

③親育ちへの支援

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
53	両親学級参加数 両親学級参加率 (再掲:45)	年度目標値	259組 45.0%	47%	50%	55%	58%	280組 60.0%
		実績値		45.70%				
		達成度		B				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	H27年度実績は初産妊婦の45.7%であった。また、両親学級は医療機関でも実施しており、今後は地域の医療機関における両親学級との連携強化に努め、医療機関の教室参加者も含めた実態把握を行っていく。						
担当課	健康増進課							

(ウ)すべての子育て家庭を応援する体制の充実	利用者の視点に立ってきめ細やかなサービスの提供・確保はもとより、母親だけでなく父親も仕事と子育てが両立できる環境づくりを推進し、また、それらの支援等を必要とする人が、適切にサービス等を利用できるよう、情報提供や交流、相談支援等を通じた周知・啓発に取り組みます。
------------------------	--

①教育・保育及び子育て支援事業の充実

重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
54	放課後児童クラブ実施箇所数	年度目標値	13か所	13か所	13か所	13か所	14か所	14か所
		実績値		13か所				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		国分寺東小学童保育室建築に向けて実施設計を行い、平成28年度には学校敷地内での安全・安心な保育ができる。今後は、国分寺小学校区の利用者が増加していることから、利用状況により空き家等を利用した保育室の確保に努める。						
担当課	こども福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
55	待機児童数 (入所要件を満たすにもかかわらず施設に入所できない児童の数)	年度目標値	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		実績値		0人				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		入所要件の緩和等により保育需要は増加している。今後も公立保育園の保育士の確保並びに幼稚園の認定こども園化を推進し、待機児童ゼロの継続に努める。						
担当課	こども福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
56	認定こども園数 (教育・保育を提供する機能を併せ持つ施設の数)	年度目標値	4か所	4か所	5か所	5か所	6か所	6か所
		実績値		4か所				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度末時点では4か所だが、第二薬師寺幼稚園が保育園部分を整備し、平成28年度より認定こども園となることで、実施箇所数は5か所となる。今後も市民のニーズに応えられるよう幼稚園の認定こども園化に努める。						
担当課	こども福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
57	休日保育事業実施園数	年度目標値	1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
		実績値		2か所				
		達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度は2か所で開催し、市民のニーズに対して受け皿は充足している。今後も利用者のニーズを的確に把握し事業を実施していく。						
担当課	こども福祉課							
重要業績評価指標 (KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
58	夜間保育事業実施園数	年度目標値	—	—	—	—	—	1か所
		実績値		—				
		達成度		—				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		午後10時以降の夜間の預りは、ファミリー・サポート・センターの利用により対応してきた。引き続き利用者のニーズの把握に努める。						
担当課	こども福祉課							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
59	乳児保育事業実施園数	年度目標値	12か所	13か所	13か所	13か所	13か所
		実績値	12か所				
		達成度	A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度末時点では12か所だが、第二薬師寺幼稚園が保育園部分を整備し平成28年度より認定こども園となることで、実施箇所数は13か所となる。今後も市民のニーズに応えることができるよう努める。					
担当課	こども福祉課						

②子育てに関する情報・相談・交流の充実

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
60	児童館の整備箇所数	年度目標値	—	—	—	—	1か所
		実績値	—				
		達成度	—				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		石橋地区に複合施設としての児童館の整備を検討しているが、平成27年度は整備についての進展はなかった。整備が具体化した場合は、地域全体の子育て拠点として、子どもたちが安全・安心に利用できる児童館の整備に努める。					
担当課	こども福祉課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
61	子育て応援HP「ママフレ」 アクセス数 (「ママフレ」の年間アクセス数)	年度目標値	22,400件	22,840件	23,280件	23,720件	24,160件
		実績値	18,224件				
		達成度	B				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		子育てに関する情報発信の一つとして「ママフレ」を活用し、市の子育て支援事業の提供を行ったが、目標値を下回った。その原因として、周知不足が考えられる。今後は、各通知や案内にサイトの紹介を載せる等周知に努めながら、より多くの方に情報を発信できるように取り組む。					
担当課	こども福祉課						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
62	利用者支援事業実施箇所数 (子ども・子育て支援に関する相談援助、 情報提供を行う窓口設置箇所数)	年度目標値	—	1か所	1か所	1か所	1か所
		実績値	—	1か所			
		達成度	A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		H27年度に市直営で窓口を開設し専門の相談員を配置した。保育園・認定こども園の申込案内資料の説明や申込書の受理事務を行い、更に年度後半は、子育て支援センターや児童館等を訪問し、利用者支援事業の周知や、各施設の情報収集に努めた。今後は窓口での入園相談や、年度途中で発生する待機児童の保護者へのフォローに努める。					
担当課	こども福祉課						

②ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
63	職場での男女平等について、募集 や採用において「平等になっている」 と回答する人の割合 (男女共同参画プラン策定時アンケート 調査において実施)	年度目標値	51.9%	—	—	—	57.0%
		実績値	—				
		達成度	—				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		意識調査は平成31年度の実施を予定。 【平成27年度実績】 ①下野市だれもが輝く男女共同参画社会づくり条例を制定した(平成28年4月1日施行)。 ②第二次下野市男女共同参画プランを策定し、平成28年4月1日から推進している。 ③男女共同参画情報紙「シェアリング」を年2回(9月、3月)発行し各戸配布した。 平成28年度は、①～③に加え、平成28年12月に下野市男女共同参画都市宣言を行い、男女共同参画社会づくりに取り組む姿勢を市内外に示す予定である。					
担当課	市民協働推進課						

(エ)多様な「出会い」の支援	コミュニケーションスキル等の学習の場を提供するとともに、市民団体等と連携し、「出会い」の場の創出・支援に取り組みます。
----------------	---

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
64	婚活に関するスキルアップ事業数	—	—	—	1事業	1事業	1事業
	(生涯学習による婚活支援事業数)		—				
	達成度		—				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度実績なし。 平成28年度に公民館で企画し、平成29年度より実施する。					
担当課	生涯学習文化課						
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
65	婚活支援事業数	1事業	2事業	3事業	3事業	3事業	3事業
	(市民が主体となり実施する婚活イベント等事業数)		2事業				
	達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		【市民協働推進課】 ・市民活動補助事業で1事業6月14日(日)実施(男性29名、女性43名の参加、結果5組のカップル成立、うち1組が結婚)。実施団体は平成28年度も継続実施 ・市民活動補助事業についても婚活事業が増えるよう説明会等でPRを行っていく ・【参考】ウインター活性化推進協議会主催の1事業12月20日(日)実績あり(男性20名、女性16名の参加。結果6組のカップル成立) 【総合政策課】 ・平成28年度に1市2町連携事業として婚活事業を実施予定					
担当課	市民協働推進課 総合政策課						

基本目標④「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 平成31年
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
幸せだと感じている市民の割合	75.0%	—				78.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「幸福感」の項目で、幸せだと感じていると回答した人の割合。	意識調査は平成31年度実施予定					
住みやすいと感じる市民の割合	84.0%	—				87.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「下野市について」の項目で、住みやすい・どちらかといえば住みやすいと回答した人の割合。	意識調査は平成31年度実施予定					

(ア)いきいき暮らせる健康づくり	充実した医療環境を活かし、市民一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりのため、各種がん検診や、保健福祉センター(きらら館・ゆうゆう館)、福祉センター(ふれあい館)を活用した事業などを総合的に展開した予防対策を積極的に推進し、また良好な救急医療体制を維持確保するため、一次・二次・三次の機能分化を促進するとともに「かかりつけ医」の普及啓発を推進します。
------------------	---

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
66	がん検診の受診率 (子宮頸がんを除く) (各種がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん)の受診率)	年度目標値	35.7%	38.0%	41.0%	43.0%	47.0%	50%以上 (乳がん60%以上)
		実績値		38.0%				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		Web予約システムの導入や無料託児付き集団検診(女性限定日のみ)等を実施し、受診率向上に努めた。					
担当課	健康増進課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
67	健康づくり施設利用者数 (ゆうゆう館・きらら館・ふれあい館の年間利用者数)	年度目標値	25万8千人	25万8千人	26万5千人	27万3千人	28万人	28万8千人
		実績値		29万5千人				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度はふれあい館に指定管理制度を導入し、効率的な取組を行った結果、順調に利用者数を伸ばす一つの要因となった。今後は、平成29年度にきらら館、平成30年度にゆうゆう館を順次指定管理制度を導入する予定であり、施設の充実と運営改善を図っていく。					
担当課	社会福祉課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
68	健康づくりへの取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	年度目標値	4	—	—	—	—	5
		実績値		—				
		達成度		—				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		意識調査は平成31年度実施予定。 市民の健康づくりの動機づけや運動習慣の定着化を促進するための健康マイレージ事業を実施したことにより健康教室等の参加者が増加した。					
担当課	健康増進課							

(イ)高齢者が元気で暮らせる体制づくり	高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進するため、自分らしい暮らしを人生の最後まで安心して続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指すとともに、高齢者が生きがいを持って地域社会とかかわることができるよう、介護予防や生活支援を推進し、介護サービス基盤の整備を進め、心身の状況や生活環境に応じたサービスの充実を図ります。
---------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
69	地域ふれあいサロンの設置数	14か所	16か所	17か所	19か所	21か所	23か所
	(地域ボランティアによる地域ふれあいサロン)		14か所				
	達成度		B				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		市内のボランティアにより地域ふれあいサロンを設置し、高齢者の生きがいづくりにより介護予防につなげている。当初14のサロンがあったが、年度途中で2か所のサロンが解散となってしまった。しかし、「しもつけ元気はつつ体操」をきっかけとして、年度末までに、新たに2つのサロンを設置することができた。今後も、しもつけ元気はつつ体操の取り組みにより、未設置地区など真に必要な地区へ推進していきたい。					
担当課		高齢福祉課					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
70	出会いふれあいサービス事業利用者数	990人	1,020人	1,050人	1,080人	1,110人	1,140人
	(概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象にした事業の年間利用者数)		796人				
	達成度		C				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度は、3地区ごとに月1回の出会いふれあいを開催。継続参加者の高齢化や体調悪化によって欠席者や退会者が増加したため、参加者が減少してしまった。地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携し、対象者への参加勧奨を行う。また、出会いふれあいで行うレクリエーションや教室の内容について検討を行い、参加者にとって魅力ある事業となるよう取り組んでいきたい。					
担当課		高齢福祉課					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
71	認知症地域支援推進員の配置数	1か所	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所
	(基幹型を含む各地域包括支援センターへの配置)		3か所				
	達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		2か所の地域包括支援センター職員2名と基幹型地域包括支援センター職員1名の計3名が認知症地域支援推進員研修を受講した。その結果、4名の認知症地域支援推進員が設置された。平成28年度は、残り1か所の地域包括支援センター職員並びに他の地域包括支援センター職員の研修受講を勧奨し、各地域包括支援センターへの複数配置を推進していきたい。					
担当課		高齢福祉課					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
72	認知症サポーター数	2,085人	660人 (延2,745人)	670人 (延3,415人)	680人 (延4,095人)	680人 (延4,775人)	-4000人 680人 (延5,455人)
	(認知症サポーター養成講座の延べ参加者数)		1,513人 (延3,628人)				
	達成度		A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		市民をはじめ、小中学校、大学、金融機関、警察署、消防署、企業等を対象に37回の認知症サポーター養成講座を開催した。その結果、1,513名の認知症サポーターが新たに誕生し、認知症サポーターは延べ3,628人となった。平成28年度には、高齢者保健福祉計画(第6期平成27年度～29年度)で設定した4,000人の目標を達成できる予定のため、「認知症サポーター4,000人達成イベント」を開催する。また、認知症サポーター受講者のフォローアップ講座も開催する予定である。					
担当課		高齢福祉課					

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
73	高齢者福祉の取組の満足度	年度目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	実績値	—				
		達成度	—				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	基幹型地域包括支援センターを設置し、各地域包括支援センターの機能強化を図った。地域包括ケアシステムの推進に向けて事業を展開していく。 宇都宮農協、小山農協、市内郵便局6ヶ所、とちぎコープ、よつば生協と高齢者見守りネットワーク協定を締結。身近な事業所がネットワークに参加したことにより、見守り体制の強化が図れた。引き続き見守りネットワークの拡大に努めていく。					
	担当課	高齢福祉課					

(ウ)障がい者(児)とともに生きる環境づくり	障がい者(児)が地域で自立した生活を送ることができる環境づくりを推進するため、障がいのある人の相談の場の確保、日常生活や地域生活の支援などの充実を図るため、障害福祉サービス事業所との連携を強化します。また、育成医療、更生医療などの自立支援医療の給付や重度心身障がい者(児)医療費助成を引き続き実施します。さらに障がいのある児童については、個々の障がいの状況や特性に応じた適切な療育や保護者への総合的な相談を行うとともに、保育、幼稚園及び学校関係との連携による支援の充実を図ります。 障がいのある人が不当な差別的取扱に受けることがないよう合理的な配慮をしていくとともに、下野市障がい者福祉計画に基づき、障がいのある人もない人とともに生きる環境の実現を目指します。
------------------------	---

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
74	指定特定相談支援事業所数	年度目標値	5か所	6か所	7か所	7か所	7か所
	(障がい者(児)が福祉サービスを利用するため利用計画作成等の支援を行う相談支援事業所)	実績値	5か所				
		達成度	A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市内の相談支援事業所を増加させるには、相談支援専門員研修を受講してもらうことが必要のため、平成27年度は0人であった受講者を増やすよう、今後は市で委託している相談支援センターと共に支援体制の確立を図っていく。					
	担当課	社会福祉課					

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
75	就労系サービス利用者数	年度目標値	137人/月	140人/月	140人/月	140人/月	140人/月
	(就労移行支援、就労継続支援(A型)、就労継続支援(B型)の年間実利用者の月平均人数)	実績値	147人/月				
		達成度	A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年3月の利用者数は、就労移行22人/月、就労継続支援A型事業所20人/月、B型事業所105人/月と大幅に増加した。市内にA型事業所が開設したことや、地域活動支援センターなのはな・すみれがB型事業所へ移行したこと、また、障害者総合支援法の施行による障がい者を地域にもどす結果が表れてきたことが主な要因と考えられる。今後も引き続き、障がい者への自立促進の取組を行っていく。					
	担当課	社会福祉課					

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
76	障がい者福祉の取組の満足度	年度目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	実績値	—				
		達成度	—				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	障がい児者と関連のある組織で構成される地域自立支援協議会を年4回開催し、部会ごとで地域課題の協議を行った。今後も、満足度を上げるため、自立支援協議会とともに各種取組を継続して行っていく。					
	担当課	社会福祉課					

(エ) 誰もが安心して暮らせるまちづくり	<p>地域で助け合い安心して暮らすことのできる地域福祉づくりを推進するため、地域における多様な福祉課題については、社会福祉協議会や民生委員児童委員との連携を図るとともに市民の意識啓発を図ります。また、市民の地域活動の状況や福祉ニーズについて総合的かつ計画的に対応するため地域福祉の充実を図ります。</p> <p>生活困窮者への相談支援や高齢者への適切なサービスの提供、さらに市民全体の健康増進を推進するため、市民ボランティアや関係機関との連携を図り適切な福祉サービスの充実を図ります。国民健康保険や後期高齢者医療においては、特定健診未受診対策など市民の健康維持を推進し、運営の健全化、医療費の適正化に向けた総合的な取り組みを実施します。</p>
----------------------	--

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
77	民生委員・児童委員の活動件数 (地域社会の実態の把握、相談支援件数)	年度目標値	4,800件	4,800件	5,000件	5,200件	5,400件	5,500件
		実績値		5,302件				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		在宅福祉や介護福祉、子供の生活支援、子育て母子福祉などあらゆる福祉課題について相談・支援を行っている。超高齢社会を迎える中で、福祉委員である民生委員・児童委員の役割は重要となってくるため、更なる活動の充実を図りたい。					
担当課		社会福祉課						
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
78	低所得者への自立に向けた支援(自立促進)数 (就労支援等を行い、就労し自立を図った世帯の数)	年度目標値	5世帯	7世帯	9世帯	11世帯	13世帯	15世帯
		実績値		11世帯				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		生活保護法の改正により保護世帯のうち稼働能力のある被保護者に対する就労支援、また生活困窮者自立支援法の施行に伴い生活困窮者世帯に対して相談支援、ハローワークとの連携による求職者の就労促進に努めた。保護で7世帯、生活困窮者で4世帯が就労収入の増加により自立した。低所得世帯の高齢化を見据えながら、就労機会・収入の増加につながるよう支援に取り組む。					
担当課		社会福祉課						
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
79	人間ドック受診率 (対象者:30歳～75歳未満)	年度目標値	4.0%	4.0%	4.2%	4.4%	4.6%	5.0%
		実績値		3.9%				
		達成度		B				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		国民健康保険被保険者の人間ドック助成事業について、広報4月号に掲載し制度の普及・啓発に努めた。その結果、年度目標値に近い実績値となり、成果を出すことができた。平成28年度も引き続き広報への掲載を行い、受診率の向上に努める。					
担当課		市民課						
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
80	特定健康診査受診率 (対象者:40歳～75歳未満)	年度目標値	39.0%	52.2%	56.1%	60.0%	60.0%	60.0%
		実績値		42.7%				
		達成度		B				
	平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度より、新たな取り組みとしてインターネットによる予約システムの導入や無料託児付き集団健診(女性限定日のみ)を実施し、受診率向上に努めた。これらの取り組みにより、前年比約2%の伸び率であった。平成28年度はさらなる受診率向上に向け、栃木県国民健康保険団体連合会と連携しながら受診勧奨事業を実施し、目標達成に努める。					
担当課		市民課						

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
81	地域福祉の取組の満足度	年度目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	実績値	—				
		達成度	—				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		民生委員児童委員活動、保護司会・更生保護女性会活動の支援を行ってきたが、今後も市民のニーズに合わせた事業の情報提供・連携等ができるよう、各委員の活動をサポートすることに努める。					
担当課	社会福祉課						

(オ)将来を担うづくり	学校・家庭・地域社会が連携し、将来を担う児童生徒の育成と地域に開かれた特色ある教育づくりを推進するため、小中学校の教育においては、学ぶ力・豊かな心・健やかな体を育む創意ある教育活動の展開を進め、英語教育、特別支援教育、情報教育、道徳教育、食育などの更なる充実を図るとともに、学習機器の整備を推進し、教育環境の一層の向上を図ります。学校適正配置については、地元住民との合意形成や学校(保護者)との連携を図りながら、小規模特認校制度の取組の検証、南河内地区における小中一貫教育の推進、通学路等の安全確保と施設環境の改善などの課題に取り組めます。また、学校施設の整備については、学校の適正規模や適正配置を視野に入れつつ、効率的かつ計画的な施設整備を推進します。
-------------	---

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
82	学ぶ意欲と自己有用感の評価点 (小学校)	年度目標値	3.20	3.21	3.22	3.24	3.25
	(とちぎっ子学習状況調査を評点化したもの※最高値4.00)	実績値	3.20				
		達成度	A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		子どもたちの学ぶ意欲を高めるような教材の開発やICT機器の活用、学習形態の工夫などの様々な研修の機会を設け、教員の資質向上を図った。また、分かる授業を展開するために、ねらいを明確にした学習指導の工夫・改善について、各校を訪問して指導・助言した。数値的な変化が見られていないので、今後もさらに徹底して取り組んでいくことや、市内外の素晴らしい取組を紹介していくことに力を入れていく。					
担当課	学校教育課						

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
83	学ぶ意欲と自己有用感の評価点 (中学校)	年度目標値	3.01	3.02	3.04	3.07	3.10
	(とちぎっ子学習状況調査を評点化したもの※最高値4.00)	実績値	3.01				
		達成度	A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		子どもたちの学ぶ意欲を高めるような教材の開発やICT機器の活用、学習形態の工夫などの様々な研修の機会を設け、教員の資質向上を図った。また、分かる授業を展開するために、ねらいを明確にした学習指導の工夫・改善について、各校を訪問して指導・助言した。数値的な変化が見られていないので、今後もさらに徹底して取り組んでいくことや、市内外の素晴らしい取組を紹介していくことに力を入れていく。さらに小学校での子どもたちの学びや経験を、スムーズに中学校へ繋げられるように、異校種間の連携を強化していく。					
担当課	学校教育課						

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
84	小中学校の教育の取組の満足度	年度目標値	—	—	—	—	5
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	実績値	—				
		達成度	—				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		知・徳・体のバランスの取れた児童生徒を育成するため調査研究を実施するとともに、教職員の資質向上、特色ある学校づくりを図った。今後も継続的に施策を展開し、児童生徒の学力向上等を図り将来を担う児童生徒を育成する。また、平成28年度は、学校適正配置や小中一貫教育について検証するため協議会を発足・開催する。そのような取組を保護者だけでなく、市民全体に理解していただけるよう情報発信に努め、地域とともにある学校としての認識をさらに高めていく。さらに学校運営協議会の導入を視野に入れて各校の取組を見直し・整理していく。					
担当課	学校教育課						

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
85	小中学校校舎への空調設備設置数	年度目標値	—	12校	4校(計16校)	—	—	16校
		実績値	—	12校				
	達成度	—	A					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度において市内全小学校12校に空調機を設置した。平成28年度に中学校4校へ設置し、全小中学校への設置を完了する。						
担当課	教育総務課							

(カ)生涯にわたり学べる機会づくり	市民の自己の実現と交流、学びを生かす環境づくりを推進するため、多様な学習機会を通じた市民の自己実現と交流、学習成果の社会還元による協働のまちづくりを支援し、生涯学習による下野市の文化づくりを推進します。 公民館では、家庭教育等ライフステージに応じた多様な学習やまちづくりに関する学習を提供し、市民の社会参加意識の高揚を図ります。図書館では、さまざまな資料や情報、学習機会の提供により市民の学習活動の支援を行います。生涯学習情報センターでは、「Youがおネット」の運営や市民活動の支援を通して、学びを生かした市民によるまちづくりを促進します。さらに、ふれあい学習・ファミリエ下野市民運動等の学校・家庭・地域社会の連携による子どもの健全育成を推進します。
-------------------	--

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
86	講座・講演会の年間受講者数 (生涯学習文化G/生涯学習情報センター・公民館・図書館主催講座の年間受講者数)	年度目標値	8,242人	8,242人	8,300人	8,400人	8,500人	8,700人 8,600人
		実績値	8,242人	8,421人				
	達成度	—	A					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		受講者数は確実に増加しており、今後も受講者のニーズや社会情勢に即した講座を開催していく。さらに学習成果を地域づくりに活かしていけるよう支援を行っていく。						
担当課	生涯学習文化課							

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
87	図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数	年度目標値	6.23冊	6.3冊	6.4冊	6.6冊	6.7冊	7.23冊 6.9冊
		実績値	6.23冊	6.33冊				
	達成度	—	A					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度(平成28年3月)「下野市図書館基本計画」の策定を行った。利用者数・貸出冊数は前年度より少しずつだが、増加している。利用者のニーズに沿った資料の充実を図ると共に、広報等でPRをすることにより、貸出数並びに新規登録者数の増加に努めたい。 ※図書館基本計画では、平成32年度の目標値が7冊となっているため目標値を訂正。						
担当課	生涯学習文化課							

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
88	公民館の利用者数 (公務間の年間利用者数)	年度目標値	14万7千人	14万7千人	14万8,800人	15万600人	15万2,400人	15万6千人 15万4,200人
		実績値	14万7千人	15万4,842人				
	達成度	—	A					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		利用件数、利用人数ともに年々増加傾向にあり、各公民館の利用頻度が高くなっている。利用者の利便性を考え、施設を整備し機能の充実を図っていかなければならない。						
担当課	生涯学習文化課							

(キ)市民総スポーツ“ひとり1スポーツ”の環境づくり	市民がスポーツに親しみ、遊び、楽しむことができる環境づくりを推進するため、全ての市民が生涯にわたってスポーツを“楽しむ”、スポーツを通して“つながる”、スポーツに“熱くなる”取組を進め、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみることができる生涯スポーツ活動の充実を図ります。 また、安全・安心で快適なスポーツ環境の整備に取り組むため、耐震診断に基づく改修や施設の修繕を行うとともに、市民が集い、多種目のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる総合的な運動公園として大松山運動公園の整備を推進します。
----------------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
89	スポーツ活動の実施率 (成人の週1回以上のスポーツ活動の実施率)	年度目標値	51.7%	—	—	—	—	53.0%
		実績値		—				
		達成度	—					
平成27年度取組と実績値の分析及び今後の取組		実績値については、平成28年3月に策定した下野市スポーツ推進計画の中間年となる平成32年に市民アンケート調査を実施する予定である。今後の取り組みについては、策定した下野市スポーツ推進計画に基づき着実に推進したいと考えている。						
担当課	スポーツ振興課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
90	スポーツ施設の利用者数 (スポーツ施設の年間利用者数)	年度目標値	62万1千人	62万5千人	63万人	63万5千人	64万人	64万人
		実績値		64万7千人				
		達成度	A					
平成27年度取組と実績値の分析及び今後の取組		実績値については、平成27年度に野球やグラウンドゴルフ、その他諸大会等で利用者が増大し目標値を達成した。今後も老朽化した施設を計画的に改修し、また、利用しやすい体制を維持していく予定である。						
担当課	スポーツ振興課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
91	大松山運動公園の整備	年度目標値	—	—	—	—	—	整備
		実績値		—				
		達成度	—					
平成27年度取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度は、実施設計が完了し、具体的なスケジュールを策定した。用地については、計画通り地権者30名の方と契約が完了し、家屋については、平成28年12月までにすべて移転完了となる。平成28年度は、工事を一部前倒し、造成工事や構造物撤去工事等を実施する予定である。						
担当課	スポーツ振興課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
92	耐震補強に取り組む体育施設数	年度目標値	—	1施設 (延1施設)	2施設 (延3施設)	1施設 (延4施設)	1施設 (延5施設)	6施設
		実績値		1施設 (延1施設)				
		達成度	A					
平成27年度取組と実績値の分析及び今後の取組		平成26年度に下野市体育施設改修計画を策定し、平成27年度は1施設耐震補強工事を実施した。平成28年度は計画に沿って2施設の工事に取り組む予定である。						
担当課	スポーツ振興課							

(ク)文化芸術と文化遺産による豊かな生活環境づくり	<p>文化的に豊かな市民生活を送ることができる環境づくりを推進するため、文化協会などの文化団体の活動を支援し、市民の文化芸術活動を推進します。</p> <p>グリムの館の効率的な管理運営と利活用の充実に図るとともに、市民ニーズ等を勘案し、文化芸術施設の整備について検討を進めます。</p> <p>文化遺産は、古から未来へつなぐ本市の重要な宝であり、引き続き整備を推進するとともに、甲塚古墳出土土輪等の重要文化財指定に向けた作業を進め、展示収蔵施設とするしもつけ風土記の丘資料館の改修整備を進めます。また、地域間交流においては国内の様々な分野において交流を推進するとともに、国際交流や多文化共生の相互理解を一層推進するため国際感覚豊かな人材を育成します。</p>
---------------------------	--

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
93	グリムの森・グリムの館の来園者数 (グリムの森・グリムの館の年間来園者数)	年度目標値	9万人	9万300人	9万600人	9万1千人	9万1,300人	9万2千人 9万1,800人
		実績値		11万4,281人				
	達成度	A						
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		グリムの森・グリムの館の管理運営は、指定管理者（一財）グリムの里いしばしにより安定的な運営が継続されている。特に、自主事業については、独自に事業評価を実施し、工夫改善が図られ、新規事業への取り組みも積極的に行われている。「グリムの森フェスティバル」は、ドイツビールやドイツ料理を楽しめるほか、屋外イベントも充実、多くの来場者で賑わった（約3,300人参加）。また、地域住民との協同によるボランティア活動、特に、ウィンター活性化推進協議会による「グリムの森イルミネーション」は、冬の風物詩として定着。毎年、新作の電光パネルが増設され、内容もグレードアップし続けており、来園者数は飛躍的に伸びている。						
担当課	生涯学習文化課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
94	下野薬師寺ボランティア会員数 下野薬師寺跡・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数	年度目標値	40人	42人	44人	46人	48人	50人
		実績値		42人				
	達成度	A						
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		毎年6回の歴史に関する内容とボランティアとしての在り方に関する講座を開催している。年間通して団体者の見学対応や周辺小学校と連携し体験講座を実施。また、ボランティア主催による自治医科大学学園祭の薬師寺に関する展示、中秋の名月に合わせた燈明の会を実施。3月初旬の薬師寺史跡まつり（約1,000人参加）時もサポートして活躍している。また、28年度からはしもつけ風土記の丘資料館においてもボランティアの増員が図れるよう、定期的な学習の機会などを設ける予定である。						
担当課	生涯学習文化課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
95	国内交流協会会員数	年度目標値	64人	65人	65人	66人	66人	67人
		実績値		68人				
	達成度	A						
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		下野市制10周年記念事業の一環として、讃岐国分寺太鼓の演奏や物産販売を通じ、讃岐国分寺（現高松市）との交流事業を市民にPRした。会員は国分寺地区に集中しており、南河内地区や石橋地区には活動が浸透していないのが現状である。今後は全市民的な会員募集の取り組みを展開するなど、協会と連携しながら、市民に広く浸透を図っていく。						
担当課	市民協働推進課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
96	国際交流協会会員数	年度目標値	375人	378人	381人	384人	387人	390人
		実績値		380人				
	達成度	A						
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		協会主催のイベント等において会員募集を呼びかけた。日本語教室を受講する外国人が増加したことも要因である。今後も協会主導により、会員募集活動に取り組んでいく。						
担当課	市民協働推進課							

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
97	国指定史跡地の整備進捗率	年度目標値	61.50%	—	—	—	—	64.0%
		実績値		63.1%				
	(国指定史跡の公有化率)	達成度	—					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		27年度の数値は、4つの国史跡地(下野国分寺跡・尼寺跡・薬師寺跡・小金井一里塚)の合計平均公有化率を記載。個別では下野国分寺跡・小金井一里塚は公有化/国指定地=100%、国分尼寺跡は約63.9%、下野薬師寺跡が31.4%の公有化率である。史跡整備は整備計画の策定、発掘調査、国史跡への追加指定、公有化を経た上で史跡整備事業となるため、すべて計画の策定が必要となる。28~31年にかけては下野薬師寺跡と国分尼寺跡の整備計画に沿った進捗となるため、上記のような目標値の設定となる。						
担当課	生涯学習文化課							

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
98	しもつけ風土記の丘資料館 入館者数	年度目標値	1万5千人	1万6千人	1万7千人	1万8千5百人	1万7千5百人	1万8千人
		実績値		1万8千671人				
	(「しもつけ風土記の丘資料館」の年間入館者数)	達成度	A					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		県から移管を受け入館料を無料としたため、県運営時より入館者が増えた。29年度は甲塚古墳出土埴輪が重要文化財の指定を受ければ入館者数は特別に増加することが想定される。年間を通じて約3,000名以上の県内の小学6年生が歴史学習として来訪しているが、小山市飯塚に新設される施設と競合するため入館者は分散する恐れがある。今後、常設展示の改修や特別展の開催がなければ入館者増は見込めないため、周辺自治体の専門職員と協力した取組を進めていく。						
担当課	生涯学習文化課							

(ケ)安全・安心な生活環境づくり	<p>市民が安心できる生活環境づくりを推進するため、消防・防災対策では、自主防災組織を設置するなど市民・地域・行政が連携強化を図るとともに、災害時に迅速かつ適切な応急対策を行うために消防署・消防団の充実を図ります。</p> <p>防犯対策では、引き続き警察や関係団体と連携した防犯活動を推進します。また、空き家対策では「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、特定空家等の所有者に対し適正に管理を行うよう指導等を行います。</p> <p>消費者行政では、消費生活センターにおける相談事業を中心に、消費者団体や事業者と連携を図りながら消費者情報を広く発信し、被害の未然防止や早期解決に向け取り組みます。</p> <p>交通安全対策では、交通指導員の適正な配置、自転車の正しい乗り方などの交通安全教育・啓発事業を実施するほか、カーブミラーや標識などの交通安全施設の整備を図ります。</p>
------------------	---

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
99	自主防災組織設置数	年度目標値	8組織	8	10	12	14	15組織
		実績値		8組織				
	(自主防災組織の設置数)	達成度	A					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		自主防災組織の設置については、8組織であり増減はなかった。消防署の指導のもと、自治会を中心とした自主防災組織の訓練が実施され組織の充実強化を図った。自治会長連絡協議会総会や団体等の集まりに参加し、組織の必要性を訴え啓発活動を行ったことにより、組織設置の意識が高まってきており、引き続き推進を図る。						
担当課	安全安心課							

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
100	消費生活に伴う相談 及び問い合わせ件数	年度目標値	280件	280件	285件	290件	295件	300件
		実績値		272件				
	(消費生活センターの年間相談件数)	達成度	B					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		消費生活に関する問い合わせでは特殊詐欺等の相談があり、犯罪も巧妙化しているなど内容も多種・多様化しており、件数は減っているものの相談時間が長く、複雑化している内容の相談に対応した。消費者被害防止に向けて、更なる消費生活センターの周知及び相談体制の強化に努めていく。						
担当課	安全安心課							

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
101	防犯の取組の満足度	年度目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	実績値	—				
		達成度					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年度に市内防犯灯をLED防犯灯に変更するESCO事業を行った。省エネルギー事業でありながら、従来の防犯灯より明るくなり、防犯体制の充実を図った。街頭防犯カメラ設置補助事業については、年々周知が図られ、平成27年度は7件の申請があり、防犯環境の構築に寄与した。					
担当課	安全安心課						
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
102	消費者保護の取組の満足度	年度目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	実績値	—				
		達成度					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		消費生活センターにおける相談事業を中心に、消費者及び消費者団体や事業者が協働し連携しながら消費者情報の発信を行った。被害の未然防止や早期解決に向けた消費者被害防止のための啓発を図る。					
担当課	安全安心課						
重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
103	交通安全対策の取組の満足度	年度目標値	—	—	—	—	4
	(第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1～5の数値で数値化したもの)	実績値	—				
		達成度					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		下野警察署、交通安全協会等、関係団体と共に、各期ごとの交通安全運動を実施し、高齢者と子供の交通事故防止、更にマナーアップ向上を目的とした広報啓発活動を展開した。					
担当課	安全安心課						

(コ) 快適に暮らせる環境づくり	市民が安心して暮らすことができる快適な生活環境づくりを推進するため、デマンドバスの利用率向上を目指し運行形態を見直すとともに、広域市町との連携した交通ネットワークの構築を目指します。 また、小山広域保健衛生組合を中心としたごみ処理の広域事業を推進し、市内統一したごみ処理と分別・リサイクルの徹底によるごみ減量化を推進します。 環境行政については、下野市環境基本条例及び基本計画に基づき、しもつけ環境市民会議などによる、市民、企業、行政がそれぞれの特徴を活かした協働による環境保全や環境創出事業を推進します。
------------------	---

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
104	市民1人1日あたりの資源物以外のごみ排出量	年度目標値	522	518	513	509	500g/人/日 504g/人/日
	(ごみ排出量の目標値)	実績値	549g/人/日				
		達成度	B				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		ごみの適正な分別を広報紙などを活用して周知している。ごみ排出量は平成26年度まで減少してきたが、平成27年度はリバウンド現象があったものとする。今後も分別の周知に努める。					
担当課	環境課						

重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
105	市民と企業・行政の協働による 環境保全活動の実施 (下野市環境基本計画協働プロジェクト 実施数)	年度目標値	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業	4事業
		実績値		2事業				
		達成度		A				
	平成27年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組	環境基本計画の第3編に記載されている協働プロジェクトのうち、環境教育・環境学習の推進と環境交流の推進について市民団体と協働プロジェクトを実施した。次年度においても、しもつけ環境市民会議をコーディネーターとして協働プロジェクトを実施していきたい。						
担当課	環境課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
106	公共交通の整備の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足 度の★の数を1～5の数値で数値化した もの)	年度目標値	3	—	—	—	—	4
		実績値		—				
		達成度		—				
	平成27年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組	デマンドバスの利用者は年々増加しているが、利用者の少ない時間帯、曜日があることから、利用実績、評価を踏まえ運行形態の見直しを行った。需要に見合った運行と利用者の負担も考慮しながら、将来にわたり持続可能な地域公共交通を目指し、事業の推進を図る。						
担当課	安全安心課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
107	環境対策の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足 度の★の数を1～5の数値で数値化した もの)	年度目標値	4	—	—	—	—	5
		実績値		—				
		達成度		—				
	平成27年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組	下野市環境基本計画推進委員会を中心に環境対策を実施した。平成28年度は下野市環境基本計画推進部会を設置し、より具体的に推進していくこととする。						
担当課	環境課							
重要業績評価指標(KPI)			基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
108	公害対策の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足 度の★の数を1～5の数値で数値化した もの)	年度目標値	4	—	—	—	—	5
		実績値		—				
		達成度		—				
	平成27年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組	下野市環境基本計画推進委員会を中心に公害対策を実施した。平成28年度は下野市環境基本計画推進部会を設置し、より具体的に推進していくこととする。						
担当課	環境課							

(サ) 協働のまちづくりの体制づくり	<p>下野市自治基本条例に基づく協働のまちづくりを推進するため、市民、NPO、企業等の多彩な担い手によるまちづくりと連携し、市民が主体となった地域づくり活動に対する支援の充実を図ります。</p> <p>また、調和のとれた豊かな社会を実現するための人権意識啓発を推進するとともに、男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進します。</p>
--------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
109	市民活動補助事業の団体数	年度目標値	11団体	11団体	12団体	12団体	13団体
	(審査会を通過する年間団体数)	実績値	11団体				
		達成度	A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		11団体が補助事業を活用した。平成28年度は応募団体を増やすため、要綱を改正し、市制施行10周年記念事業からの移行を可能とすることにより、申請団体数の増加を図る。 【参考】平成28年度選定団体数は19団体。					
担当課	市民協働推進課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
110	人権教育講演会の受講者数	年度目標値	100名	110名	120名	130名	150名
		実績値	20名				140名
		達成度	D				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		人権擁護委員・児童委員民生員・更生保護女性会・生涯学習推進協議会委員等に周知を行ったが、参加者が少なかった。市の他の事業と開催日が重複したこと、委員の自発的な参加を期待して、動員をかけたことが要因と考えられる。今後は周知方法を工夫しながら、受講者の確保に努めていく。					
担当課	生涯学習文化課						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
111	社会全体で「男女平等である」と回答する人の割合	年度目標値	—	—	—	—	18.0%
	(男女共同参画プラン策定時アンケート調査において実施)	実績値	—				
		達成度	—				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		<p>意識調査は平成31年度実施を予定している。</p> <p>【H27年度実績】以下の通り、啓発活動を行った。</p> <p>①男女共同参画週間にあわせて、5/30～7/1市内4か所(ゆうゆう館、きら間、道の駅、旧国分寺庁舎)でパネル展を行った。</p> <p>②男女共同参画のつどいを以下の内容で開催した。</p> <p>日時:平成28年11月29日(日) 場所:国分寺公民館大ホール 参加者:約250人 内容:第一部[説明会] 男女共同参画推進条例案&第二次男女共同参画プラン案 第二部[講演会] 演題「炭鉱閉山からの復興～女性の仕事・生き方を考える～」講師:カレイナニ早川氏</p> <p>③毎月広報しもついでコラムを掲載したほか、広報6月号で男女共同参画週間の特集記事を掲載した。</p> <p>・市内各種イベント時にパネル展示やチラシ配布などを行った。</p> <p>10月18日 生涯学習情報センター祭り 11月29日 男女共同参画のつどい 1月10日 成人式 <配布物> 情報紙・DV啓発カード・DV啓発ちらし</p> <p>平成28年度も同様に、啓発に努めていく。</p>					
担当課	市民協働推進課						

(シ)健全な行財政運営の仕組づくり	<p>行政運営の効率化による健全財政のまちづくりの推進のため、引き続き行財政の計画的・効率的な運営を図るとともに、公共施設の計画的・効率的な管理運営・利活用を推進し、財政負担を考慮した施設の再配置計画に取り組みます。</p> <p>また、市民と行政の情報共有をより一層推進するため、積極的な情報発信に取り組むとともに、単独市町では実施が難しい事業等については、周辺市町と連携した取組を推進し、広域的な住民サービスの充実を図ります。</p>
-------------------	---

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
112	公共施設等総合管理計画策定 (公共施設マネジメント基本方針等の策定)	年度目標値	—	策定	—	—	策定	
		実績値	—					
		達成度	—					
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		平成27年9月に発行した「下野市公共施設白書」を基礎資料として、公募市民を含む下野市公共施設マネジメント検討委員会において、今後の公共施設等のあり方に関する全体的な基本方針(案)の検討を行った。平成28年度は、施設類型別の基本方針の検討を行い、全体基本方針と併せてパブリックコメント実施し、年度末に公表する予定となっている。						
担当課	総合計画課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
113	市ホームページアクセス数 (市ホームページの年間アクセス数)	年度目標値	110万件	112万件	114万件	116万件	118万件	120万件
		実績値	110万件	124万件				
		達成度	—	A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		常に最新情報を更新することにより継続的に閲覧されるようにした。また、よく検索されるようなキーワードを発信することにより、下野市に関連のない閲覧者を獲得することができた。平成28年度は、ホームページをリニューアルし、発信能力の充実を図る。						
担当課	総合政策課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
114	共同連携事業数 (広域連携事業の事業数)	年度目標値	21事業	21事業	22事業	22事業	22事業	23事業
		実績値	21事業	21事業				
		達成度	—	A				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		周辺自治体が連携し、地域の活性化を図ることによって、住民が幸せを実感し、住みたい・住み続けたいと思える魅力ある地域を創出するため、小山市・下野市・野木町・結城市を構成市町とする小山地区定住自立圏の形成に向け、構成市町と協議を進めた。平成28年度は、定住自立圏の形成に関わる協定を締結し、医療・福祉や産業振興などの様々な分野での具体的連携事業を協議・決定し、事業を展開していく。						
担当課	総合政策課							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年	
115	他市町との連携の取組の満足度 (第二次下野市総合計画における満足度の★の数を1~5の数値で数値化したもの)	年度目標値	3	—	—	—	—	4
		実績値	3	—				
		達成度	—	—				
平成27年度の取組と実績値の分析及び今後の取組		小山地区定住自立圏において、小山市・下野市・野木町・結城市と連携事業を展開することによって、満足度の向上を図っていく。						
担当課	総合政策課							